

保健福祉企画総務課長 様

教育委員会 生涯学習課長

教育委員会 教育支援担当課長

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成28年10月28日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>操山公民館・教育相談室・適応指導教室新築整備事業</p>	
	<p>委員からの意見</p>	<p>委員の意見に対する回答</p>
<p>○フロー案内版には点字は付くのか。</p> <p>○車椅子利用者が一人で車を運転して来た場合、車から降りて、パイロンをどかして、また車に乗って駐車するという動作が必要になるので、できれば置いてほしくない。</p> <p>○多目的駐車場が専用で2台あるが、入口に近い駐車場にもう3台分ぐらいコーンを置いて、車椅子の方や高齢者が止めやすいようなスペースを設けて欲しい。</p> <p>○250号線の歩道の点字ブロックから公民館入口まで点字ブロックをつなげる事ができるか。</p>	<p>○点字は付きます。</p> <p>○伺ったご意見を参考に検討します。</p> <p>○伺ったご意見を参考に、可能な範囲で対応します。</p> <p>○道路管理者と協議します。</p>	

○公民館の敷地内から建物に入るまでの点字ブロックの位置が駐車場のすぐ脇を通るように感じられる。安全面でどうなのか。また、点字ブロックの配置にあたっては、雨に濡れないように屋根の位置にも考慮してほしい。

○公共交通機関を利用した場合、視覚障害者にとっては、案内があったほうがいい。また、横断歩道上にもエスコートゾーン(凸凹)を敷設してほしい。

○聴覚障害の場合は、耳から情報が入らない。災害時の場合には、光って知らせる物、目で見て分かる物の設置をお願いしたい。

○多目的トイレにあるL型手すりが左側にある。この手すりを必要とする方は、片麻痺がある方で片麻痺には右・左両方ある。できたら1階と2階で右側のL型手すりも必要だと思っている。便座の位置を変えれば右側にもなるので考えてほしい。

○中の配置についても車椅子用の手洗いの場所が便座から離れている。座ったままの状態で使用したい。オストメイト流しの位置に手洗いをもってきてほしい。

○2階の階段の降り口に車椅子転落防止用の車止め(逆U字型)を付けてほしい。

○入口の点字ブロックの上にはマットを敷かないでほしい。また、マット自体で、高齢者等は滑りやすく、厚みがあるマットは、車椅子の方には通行に不自由する。そのようなことも考慮いただきながら、マットを敷いて欲しい。

○伺ったご意見を参考に検討します。

○道路管理者と協議します。

○現在検討中です。

○伺ったご意見を参考に検討します。

○伺ったご意見を参考に検討します。

○伺ったご意見を参考に検討します。

○伺ったご意見を参考に、利用者に支障のないように配慮した、点字ブロック、マットの設置を検討します。

○多目的トイレの扉が引き戸になっているが、車椅子の方がスムーズに入れる、開けると止まるタイプの設置を予定しているのか。

○多目的トイレの便器の後ろには背もたれが付いているか。姿勢が保てない人もいるので背もたれがあったほうがいい。

○小児(男児)用の便器がトイレ内のどこかに設置してほしい。

○子どもの衣服の着脱をさせるために、男性・女性トイレにも1か所ずつ、フィッティングボードを設置してほしい。

○高齢者の方や膝が悪い方などのためにも段差を軽減する踏み台を設置してほしい。また、和室には座椅子、施設内には車椅子の準備をお願いしたい。

○踏込から和室に入る段差の所には手すりがあったほうがいいのではないかな。

○2階の調理室の調理台は、車椅子の方も参加できるように低い調理台があればいい。また、同じ理由で美術工芸室にも低い机があるといい。

○多目的内トイレ内のユニバーサルシートについて、シートが折りたたまれずベッドの状態で放置されると、車椅子の方のトイレ使用の妨げになる。定期的に、シートの状態を確認してもらうことは可能か。

○伺ったご意見を参考に検討します。

○伺ったご意見を参考に検討します。

○多目的トイレについては、限られた空間の中で様々な機能を充実させてはいるが、今の計画の中では小児用の小便器は考えていません。

○限られた空間ですので、男性・女性トイレには設置していませんが、多目的トイレには、フィッティングボードと、ベビーチェアを設置します。

○踏込には、踏み台のようなものを計画しています。また、座椅子・貸出し用の車椅子についても、可能な限り、対応します。

○伺ったご意見を参考に検討します。

○調理台の1台は昇降式で車椅子の方で利用できるものを計画しています。美術工芸室についても、伺ったご意見を参考に検討します。

○常駐の職員が、定期的に巡回することで、対応が可能です。